

会 議 報 告 書

1. 概 要

会 議 名	令和3年度 行財政改革推進委員会（第1回）		
日 時	令和3年5月28日（金） 14:00～16:00		
場 所	本庁舎 防災会議室		
議事・結果概要			
出 席 者	委 員 (9名)	福島 浩彦	藤井 辰美
		野津 伸治	山村 靖
		木山 美佐枝	遠藤 明子
		山口 和久	野口 裕子
		中井 和美	
	事務局	小松町長、山口副町長、田中教育長、 山田総務課長、ほか管理職13名、事務局(鈴木)	

2. 決定事項、委員意見【要約】

<p>(1) 委員長、副委員長の選出について</p> <p>委員長：福島浩彦 副委員長：山口和久</p>
<p>(2) 令和2年度の行財政改革の取組みについて</p> <p>特にご意見等なし</p>
<p>(3) 令和3年度の行財政改革の取組について</p> <p>● 「(1) 行財政改革の目的」について</p> <ul style="list-style-type: none">・「質の高い住民サービスの提供が困難となってしまいます。」は、住民にとって「どうなるのかが分かりにくい（イメージできない）」 →住民がどうなるのかイメージできる表現とする。 例：「住民生活が低下する」など <p>● 「目的」、「基本方針」について</p> <ul style="list-style-type: none">・正しい国語で表現を検討してはどうか。（例：「町民目線」→「町民の視点」） <p>● 「参考1 公の施設の使用料」の「公の施設」の定義について【ご意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・役場庁舎は、町民が利用する「公の施設」ではないが、今後、空きスペースを町民の利用のために開放することも、今後は考えても良いと思う。 （国の省庁の建物は、開放されることはないだろうが、自治体の庁舎は空きスペースがあ

れば、各種団体の活動の場として開放されても良い)

●「参考3 公の施設の使用料」

- ・「必需的」という定義を「大半の町民が必要とするサービス」と「数」で、必需的と判断するのではなく、生活するうえで不可欠なものかどうかではないか。

右下の「みんなが使う必要性がたかいもの」と言う表現の見直しも必要。

(誰しもの使わなければ、生活が困るもの。数的には少数でも必要不可欠なものもある。)

(例：難病の人は少ないかも知れないが、必要不可欠なサービスもある)

- ・「必需的」の意味が分かりにくいので町民に分かり易い表現とすること。

●「公の施設にかかる使用料算定シート」

- ・「3年平均」について、特殊な事情のある年もある場合があるため、加重平均など大きな変化のある年を考慮する計算式とすることも検討する必要がある。

(4) アクションプランについて

●P33 個別施設計画について、決められた内容の周知が足りない。

(パブリックコメントはしても知らない町民がいる)

●P40 「Private Finance Initiative」のスペルに誤りがある。

●P51 「学校給食会にてこれまで行っていた給食」以降が文字が切れているが内容は？

→これまで、町の会計ではなく別に給食会の会計で給食費などを管理していたが、町の会計で管理することとした。

●P51 「学校給食」について【ご意見】

- ・給食の食材は、価格ではなく添加物が使用されていないものなどを選ぶことなどについて、保護者などが議論でして決めることも今後は必要かもしれない。

●P58 「DX」について

- ・用語解説が必要。(全体を通して用語解説が必要なものは、注記として記載が必要。)

●P74 「地域おこし協力隊事業」

- ・他の事業もだが、取組み結果など、町民が読んでもわかりにくい表現があるので、町民が読んで分かる内容に改善が必要。

●P83 「コンビニ交付サービス事業」について

- ・「コストが高い」という町民の評価に対し、システム使用料のコストを1/3程度に下げる具体的な提示があったので、町の検討について一定の評価ができる。

●P85 「ICT 教育環境整備事業」

- ・道具(タブレットなど)をどのようにこどものための教育に使うかが大切。
- ・実際に現場でこどもを見ている先生がどんどん国に使い方などについて意見を上げていくことが重要(実際にこどもたちの教育現場にいる先生の意見を町が国などへ上げていく

ことが大切)

(5) そのほか全体を通じた意見など

- 公共施設（浦安地区公民館など）の更新工事中は、自然災害などの際の避難場所を確保する必要がある。
- 職員をコスト面で減らすだけでなく、しっかりした相談に乗れる体制などを構築する必要がある。
- 廃止する施設にある備品は、利用できる施設へ移転して使えるようにする必要がある。
- 子どもが知ることを「楽しい」と言える教育が大切である。
- コロナワクチンの申込にあたりインターネット環境やスマートフォンがない方もいる中、「インターネット環境などがある」という前提で進められている気がする。
 - ・そのような方が取り残されることのないよう予約方法などの配慮が必要。
 - ・高齢者へのフォローとして、一緒に勉強できるような場も必要。
- 分かりにくいアクションプランなど町民が見ることで、町民が興味を失うことの内容にしないでほしい。
- 行財政改革の目的、基本方針は、町民の方にわかりやすく伝えるような姿勢が感じられ、以前の内容より良くなっている。
アクションプランについても、誰が読んでも分かるようにしていく必要がある。
- 昨年度の事業レビューでは、外部の有識者の意見だけでなく、参加した住民の方に意見を聞く場がしっかり取られており、よかったので、引き続き、住民の意見も聴く時間を設けて欲しい。